



発行日 平成26年8月 第78号

日頃、地域医療連携にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。

今年度より、秋田道沿線地域医療連携協議会へ羽後町立羽後病院と西和賀国民健康保険沢内病院が加わりました。脳卒中パスによる地域連携がより拡大しつつあります。

今回は、協議会の内容の一部をご報告いたします。

地域医療連携室 大沢 知佳

秋田道沿線地域医療連携協議会 実務者会議の報告

日時：平成26年7月11日（金）16:00～18:15

場所：大曲厚生医療センター 3階 応接室・大会議室

参加者：秋田県立リハビリテーション・精神医療センター、大曲厚生医療センター、雄勝中央病院、羽後町立羽後病院、西和賀町国民健康保険沢内病院、平鹿総合病院の関係者 計32名

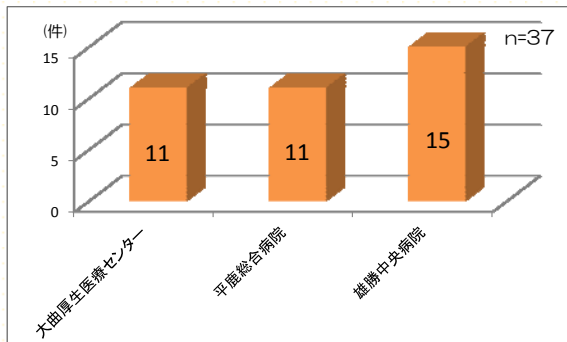
<報告事項>

1. 実務者協議会の代表者の交代について

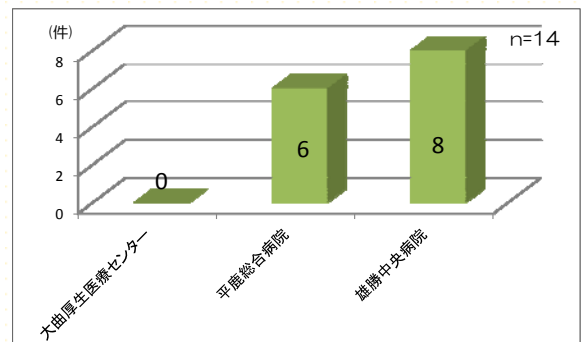
(旧) 平鹿総合病院地域医療連携室 看護師長 高山 国子

(新) 雄勝中央病院 看護副部長 石橋 昭子

2. 平成26年4月1日～6月30日までの脳卒中地域連携パスの使用実績



1. リハセンへの紹介



2. 町立羽後病院への紹介

<協議事項>

1. 事例検討「車の運転に関する評価・リハビリについて」

左視床出血、55歳の男性。ADLはほぼ自立していたが、車の運転の希望があり、リハセンへ転院となった。運転に対する注意検査などの評価に問題が残り、運転は困難という評価であった。機能回復や代替動作の習得に対するリハビリは可能であるが、注意障害に対するリハビリはなく、注意障害の回復に合わせ、再評価を行う予定となった。

2. リハセンより転院時のお願い（一部抜粋）

- 1) 転院時は、診療情報提供書や医師サマリの処方内容と持参薬が異なっていないかを確認してください。
- 2) 入院中、オムツの補充や退院の相談のために、ご家族に来院をお願いすることを伝えてください。